



2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

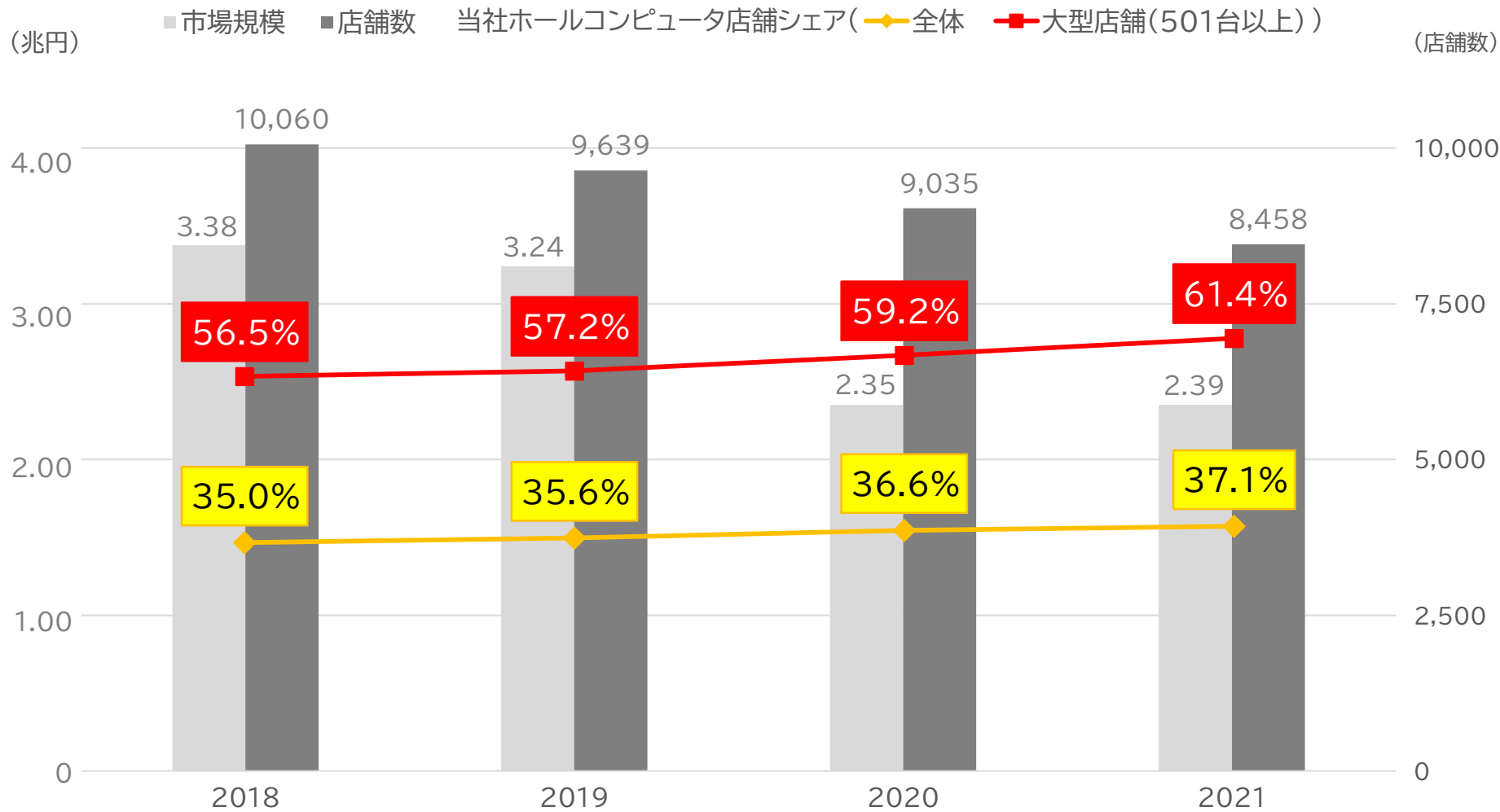
ダイコク電機株式会社

2022年11月25日(金)

東証プライム・名証プレミア
証券コード 6430

2023年3月期 第2四半期決算

市場は緩やかに縮小するも、当社のシェアは大型店舗を中心に業界首位

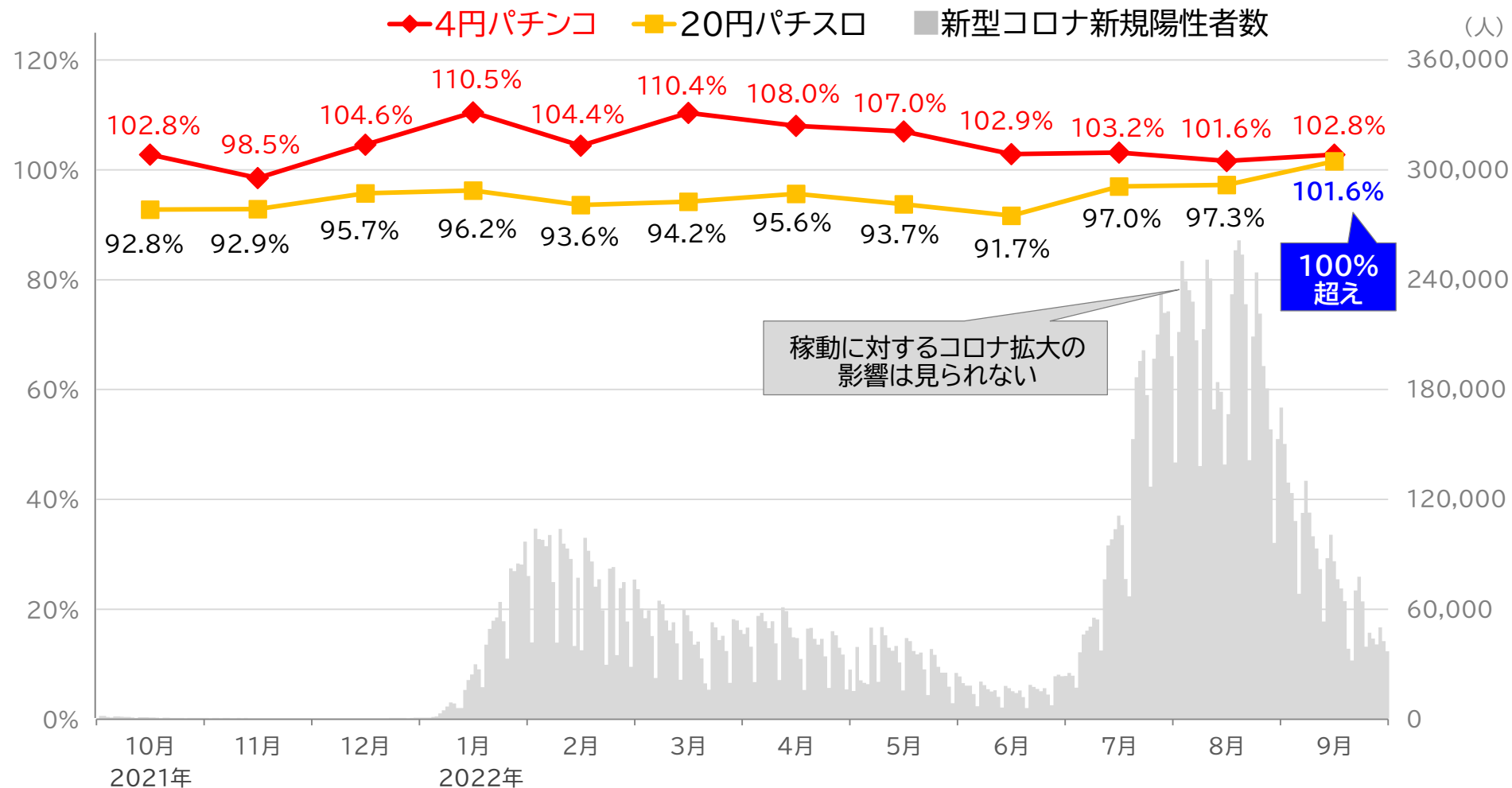


※市場規模(総粗利)はDK-SISの実データからの推測値

※店舗数は警察庁の「風俗営業等の現状と風俗関係事犯の取締り状況等について」データより

稼動(アウト)・前年同月比の推移

低調が続いたパチスロは、6.5号機の登場で9月に前年同月比100%超え



※稼動(アウト)はDK-SISの実データ

減収減益となるも、利益は前回発表予想を大幅に上回る

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2022/3期 第2四半期	2023/3期 第2四半期 (予想※)	2023/3期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	予想比 (増減率)
売上高	12,047	11,000	11,289	△757 (△6.3%)	+289 (+2.6%)
売上総利益	5,103	4,400	5,233	+130 (+2.6%)	+833 (+18.9%)
販売費及び 一般管理費	4,239	4,350	4,483	+243 (+5.8%)	+133 (+3.1%)
営業利益	863	50	749	△113 (△13.2%)	+699 (-%)
経常利益	919	130	871	△47 (△5.2%)	+741 (+570.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	678	100	570	△108 (△15.9%)	+470 (+470.4%)

※業績予想値は、2022/5/26に開示した2022年3月期 決算説明資料より

情報システム事業、制御システム事業ともに減収

情報システム事業

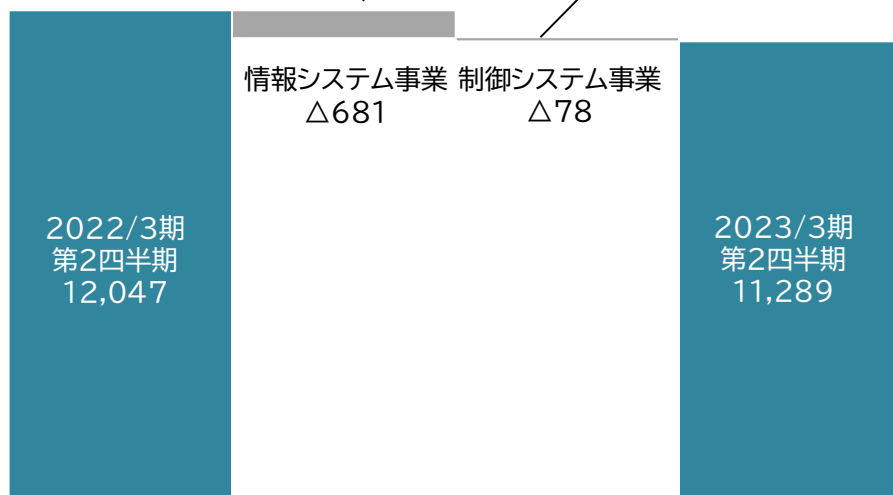
売上高85億5百万円 →前年同期比 △6億81百万円 (△7.4%)

パチンコホール向け製品等:53億19百万円 サービス:31億86百万円

「パチンコホール向け製品等」売上は、世界的な半導体不足の影響により供給が追いつかず、販売台数を調整せざるを得ず、前年同期を下回る。

「サービス」売上は、「MGサービス」など主要なサービスは堅調に推移したものの、コンシューマビジネスが伸び悩み、前年同期から微減。

単位:百万円
(百万円未満切捨)



制御システム事業

売上高27億88百万円
→前年同期比 △78百万円 (△2.7%)

遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等:10億11百万円
部品・その他:17億72百万円

前期に実施された新規則機への入替需要の反動減と、今後のスマート遊技機の動向を探る姿勢により、市場全体の遊技機販売台数は減少。

表示ユニット及び制御ユニット販売は前年同期を下回るが、部品販売は好調に推移し、前年同期を上回る。

※セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

情報システム事業は増益となるも、制御システム事業は減益

情報システム事業

セグメント利益 14億6百万円 →前年同期比 +59百万円 (+4.4%)

→スマートパチスロへの期待から市場が活況となり、ホールコンピュータ「X」のシステムアップが予想を大幅に上回る

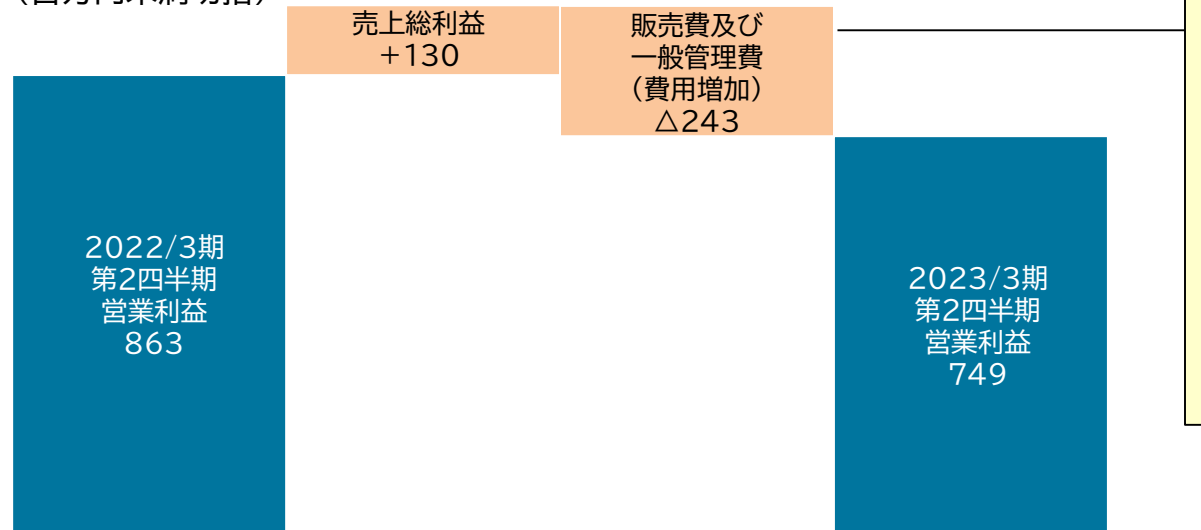
制御システム事業

セグメント利益 48百万円 →前年同期比 △2億17百万円 (△81.8%)

→パチスロへの開発投資、取引遊技機メーカー民事再生手続きによる貸倒引当金繰入額により、前年同期より大幅減益

※ 全社経費 7億6百万円 →前年同期比 △47百万円 (△6.3%)

単位:百万円
(百万円未満切捨)



■販売費及び一般管理費

→前年同期比 +2億43百万円

【主な項目】

貸倒引当金繰入額	+2億29百万円
研究開発費	+16百万円
販売促進費	+53百万円

D/Eレシオ(有利子負債÷自己資本)は0.06と、十分な健全性を確保

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2022/3期	2023/3期 第2四半期	前連結会計 年度末比
流動資産	26,764	25,800	△964
固定資産	14,725	14,111	△613
資産合計	41,489	39,911	△1,577
流動負債	9,419	7,781	△1,637
固定負債	928	935	+6
負債合計	10,348	8,717	△1,630
純資産合計	31,141	31,194	+52
負債純資産合計	41,489	39,911	△1,577
有利子負債	2,001	2,001	±0
自己資本比率	75.1%	78.2%	+3.1%
D/Eレシオ	0.06	0.06	±0

■資産

スマート遊技機導入に向けて製品等が増加したが、営業債務決済による現金及び預金の減少や、減価償却費の計上による有形固定資産及び無形固定資産の減少により、前連結会計年度末比15億77百万円減少

■負債

2022年3月に比べ設備投資額が小さかったことや、消費税等の納付などによるその他流動負債の減少等により、前連結会計年度末比16億30百万円減少

■純資産

期末配当金の支払いがあったが親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末比52百万円増加

■自己資本比率

前連結会計年度末に比べ3.1ポイント上昇

棚卸資産の増加や仕入債務の減少により営業キャッシュフローはマイナス

単位:百万円 (百万円未満切捨)	2022/3期 第2四半期	2022/3期	2023/3期 第2四半期
営業キャッシュ・フロー	1,744	3,220	△343
投資キャッシュ・フロー	△614	△564	△570
財務キャッシュ・フロー	△1,443	△1,814	△517
現金及び現金同等物	15,426	16,581	15,150
フリー・キャッシュ・フロー	1,130	2,655	△913

現金及び現金同等物の期末残高
(2022年3月末)

16,581

営業キャッシュ・フロー △343

税金等調整前四半期純利益	+867
売上債権の増減額	+1,932
棚卸資産の増減額	△2,225
仕入債務の増減額	△1,085
営業CFその他	+167

投資キャッシュ・フロー(無形固定資産の取得△377 等)

△570

財務キャッシュ・フロー(配当金の支払額△517 等)

△517

現金及び現金同等物の期末残高
(2022年9月末)

15,150

2023年3月期 連結業績見通し

スマート遊技機向け設備販売が好調で、売上・利益ともに通期予想を上方修正

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2022/3期	2023/3期		前年同期比
	通期	上期	通期（予想）	
売上高	24,390	11,289	26,500	+2,109
売上総利益	10,143	5,233	10,650	+506
販売費及び一般管理費	8,952	4,483	9,550	+597
営業利益	1,191	749	1,100	△91
経常利益	1,367	871	1,300	△67
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,228	570	850	△378

研究開発費	627	268	724	+97
減価償却費	1,762	795	1,668	△93
設備投資	881	197	1,779	+897

※設備投資には、有形固定資産の他、無形固定資産への投資を含めて記載しております。

2023年3月期 セグメント別業績予想

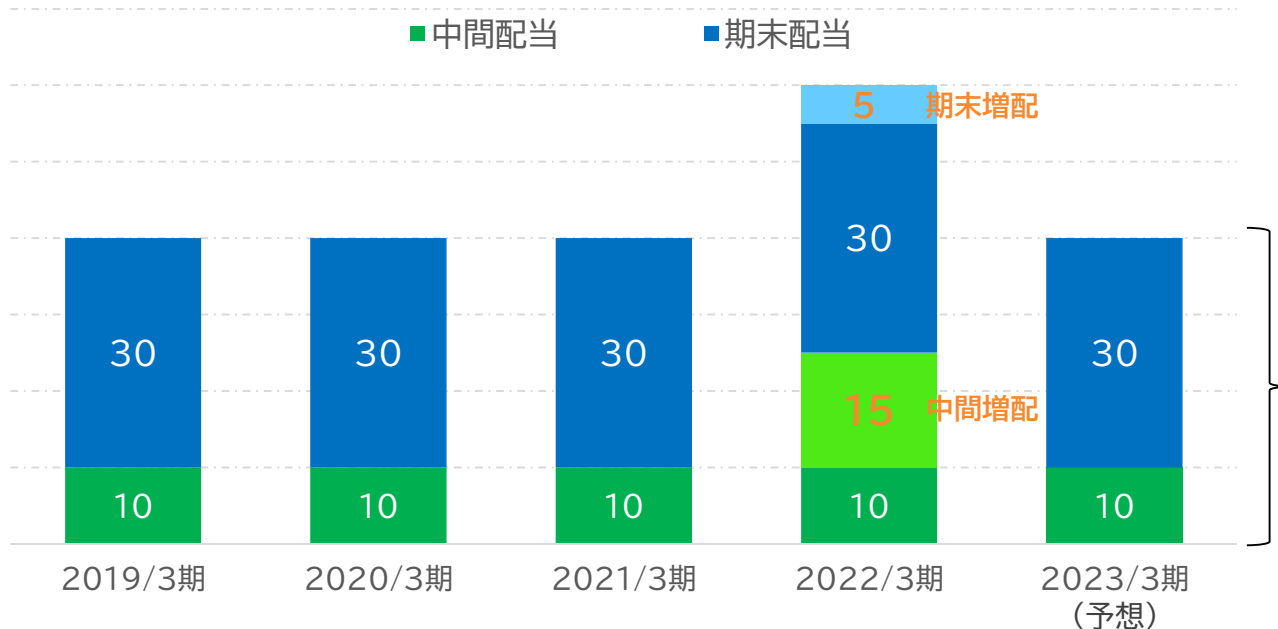
情報システム事業は、スマート遊技機向け設備販売が好調で増収増益を予想

制御システム事業は、遊技機メーカー向け表示ユニット等の販売が翌期にずれこむことやパチスロへの投資増で減収減益を予想

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2022/3期	2023/3期		前年同期比
		通期	上期	通期(予想)	
	情報システム事業	18,647	8,505	21,100	+2,452
	制御システム事業	5,759	2,788	5,400	△359
	セグメント売上高	24,407	11,293	26,500	+2,092
	情報システム事業	2,171	1,406	2,400	+228
	制御システム事業	537	48	250	△287
	セグメント利益	2,709	1,454	2,650	△59
	全社経費	△1,524	△706	△1,550	△25
	連結売上高	24,390	11,289	26,500	+2,109
	連結営業利益	1,191	749	1,100	△91

※セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

安定配当を基本方針とし、業績に応じた利益還元を実施



	中間配当	期末配当	合計	連結配当性向
2019/3期	10	30	40	46.8%
2020/3期	10	30	40	55.7%
2021/3期	10	30	40	96.5%
2022/3期	10 + 15 (増配)	30 + 5 (増配)	60	72.2%
2023/3期(予想)	10	30	40	69.6%

< 今期は節目の50期 >

株主の皆さまに利益還元をはかれるよう業績向上に努める



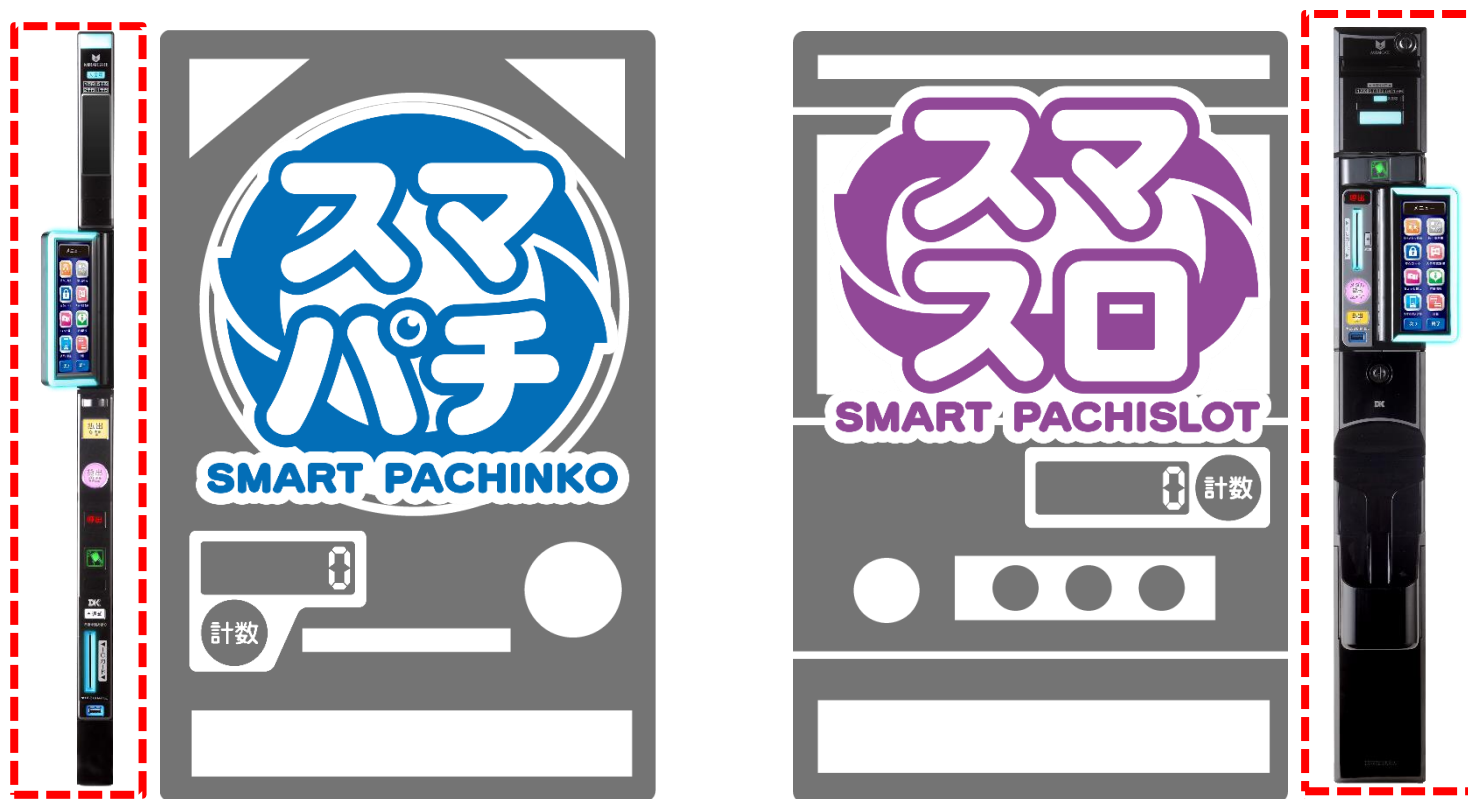
ご参考資料

スマートパチスロ(2022年11月)、スマートパチンコ(2023年春)が登場

2022年												2023年					
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
パチンコ			解釈基準変更 ・コンプリート機能搭載 (規定持ち玉数に達したら強制打ち止め) ・遊タイムの発動回数が大当たり確率の分母の 2.5倍～3.0倍→1.5倍～3.0倍									コンプリート機能 搭載機種登場 (2022/12頃～)			スマートパチンコ登場 (2023/春) ・メーカーTSの上限を 350に引き上げ ・通常時のc時短抽選を 利用したゲーム性拡大		
2022年1月末 旧規則機 撤去																	

2022年												2023年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月						
パチスロ			解釈基準変更 ・コンプリート機能搭載 (規定持ちメダル数に達したら強制打ち止め)									コンプリート機能 搭載機種登場 (2022/10～)			スマートパチスロ登場 (2022/11～) ・有利区間のG数上限撤廃へ								
2022年1月末 旧規則機 撤去																							
			6.5号機登場(2022/6～) ・有利区間上限 3000G→4000Gに ・有利区間の最大獲得枚数が MY2400枚→差枚2400枚に																				

スマート遊技機の普及にあわせ、スマート遊技機専用ユニットVEGASIAを拡販



当社製スマート遊技機専用ユニット (VEGASIAⅢ-SP/SS)

業界向けWebセミナー 「DK-SISセミナー」

SIS Online Seminar
オンラインセミナー **躍進**

ClarLink
DK-sis Fan-sis
Xai-sis Market-sis

開催期間 6月20日(月)～24日(金)
※各日各回ともセミナー内容は同一。所要時間は約90分を予定。時間内は自由にご視聴いただけます。

第一回 13:30～15:30 第二回 18:00～20:00

講師 片瀬 宏之 成田 晋治 服部 祐治 竹河 雅斗

日	月	火	水	木	金	土
6/19	20	21	22	23	24	25
SIS Online seminar						
	成田・片瀬	竹河・服部	竹河・片瀬	成田・服部	成田・片瀬	
	竹河・服部	成田・片瀬	成田・服部	竹河・片瀬	竹河・服部	

4円パチンコの業績を上げるために
躍進させる2大ポイント

① アウト支持率を指標とした
自店タイプシェアの再構築

業界初! ② ビッグデータから導いた
特定日戦略の極意

『新台戦略』だけに頼らなくても業績向上できます

MIRAIGATE-SIS統括部
上席講師 服部 祐治

- ✓ 最新の業界動向や業績向上につながる営業手法を解説
- ✓ 業界関係者、約5,000人が視聴

新MIRAIGATEサービス 「楽しく入替運用オプション」



- ✓ 遊技台入替時の設定時間を大幅短縮
- ✓ パチンコホールの省力化に貢献

パチンコホール・パチンコファン向けに各種製品サービスを開発し提供

ホールコンピュータ



店舗に設置された遊技台のデータを集計し、ホール経営に役立つ高度な分析を提供。

台・景品・顧客・情報公開、セキュリティ等、店舗運営に必要なシステムを統合管理。

最新モデル「X(カイ)」では、全国の当社ホールコンピュータから当社MIRAIGATEサーバーに送信されるビッグデータを活用。

AI自動分析(オートコンサル)をはじめ、AIセキュリティ、高精度シミュレーション、禁煙化対応 新型コロナウイルス対応など、時流に合わせた運用が可能。



ファン向けWEB・アプリサービス



パチロボ(無料アプリ)では、全国のパチンコホールデータをファンが無料閲覧可能。



サイトセブン(有料サイト)では、パチロボより詳細なデータをファンが閲覧可能。

呼出しランプ(大型液晶)



BIGMO PREMIUM II



REVOLA

大当たりやスタートなど遊技台のデータ表示、機種に合わせた映像・光・音等による演出、ファンによるスタッフの呼出しなどを行う。

景品管理

獲得した出玉を景品交換するシステム。最新POS「SP-01」では、店舗に合わせた設置や、15.6インチ大型タッチパネル液晶でのキーボードレス運用が可能。

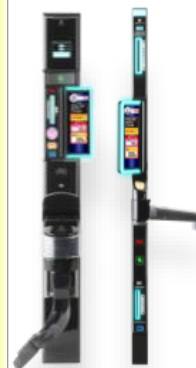


CRユニット

遊技するための玉やメダルを貸出するために、遊技台毎に設置される端末。

ホールコンピュータ「X」との連動で、ホール内での高度なセキュリティや分析を提供。

直近ではスマート遊技機専用「VEGASIAⅢ-SP/SS」の需要が急増。



ストック型ビジネスとして、パチンコホール向け・パチンコファン向けサービスを展開

MIRAIGATEサービス (パチンコホール向け)



サイトセブン、サイトセブンTV (パチンコファン向け)



パチンコは開発受託を継続するも、今後はパチスロに注力

遊技機メーカー

制御システム事業



パチンコ機



パチスロ機



開発委託(OEM)

事業の継続



遊技機メーカーとして
パチスロ機の製造・販売



2年後に市場投入

経営理念をもとにサステナビリティ基本方針を策定

経営理念

イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります。

サステナビリティ基本方針

ダイコク電機グループは、経営理念に基づく事業活動を通じて社会課題を解決し、ステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現とグループの成長を目指します。

ESG	マテリアリティ	SDGs
E	地球環境への貢献	     
S	人材活躍の推進	  
	イノベーションによるソリューション提供	
	依存症への対応	
G	ガバナンスとコンプライアンスの強化	  

マテリアリティに沿った具体的な取り組みを推進

○ギャンブル依存症チェックゲーム

- ・マテリアリティ : 依存症への対応
- ・SDGs : 目標12「つくる責任 つかう責任」



○親子プログラミング体験教室

- ・マテリアリティ : 人材活躍の推進
イノベーションによるソリューション提供
- ・SDGs : 目標4「質の高い教育をみんなに」
目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」



- 総務省「テレワーク先駆者百選」認定
- 福利厚生推進法人「ハタラクエール2022」認証
- 「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2022」賛同

- ・マテリアリティ : 人材活躍の推進
- ・SDGs : 目標8「働きがいも 経済成長も」



- 春日井事業所にソーラーパネルを設置
- OTCFDに基づく気候変動に係る情報の開示

- ・マテリアリティ : 地球環境への貢献
- ・SDGs : 目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
目標13「気候変動に具体的な対策を」





■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR推進室

URL <https://www.daikoku.co.jp/contact/>

E-MAIL : xsomu@daikoku.co.jp

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い申し上げます。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。